2620

Rotary District2620

ガバナー月信

Govener's Monthly Letter

地区年度テーマ
『よりそう奉仕・ロータリー』

今月は『ロータリー親睦活動月間』

6 Vo.12 2025

国際ロータリー第 2620 地区
2024-25 年度 ガバナー　小泉 久司（甲府西 RC）

早いもので、今年度も残すところあと１カ月となりました。

今年度のＲＩ会長テーマ、“THE MAGIC OF ROTARY”（ロータリーのマジック）のもと、活動を展開してまいりました。地域社会へどのようなマジックを展開できたでしょうか？　今年度の活動でマジックを感じられるようなロータリー・モメントはございましたか？　ロータリークラブ、ローターアクトクラブで、そして個々のロータリアン、ローターアクターの皆さんが実感した「ロータリーのマジック」がございましたら、ぜひお聞かせいただきたいと思います。

皆さんご存じの通り「ＲＩ会長テーマ」が掲げられるのは今年度までで、次年度からは「ＲＩ会長メッセージ」となりますので、最後のテーマとして記憶に留めていただきたいと思います。

ＲＩ国際大会は６月 21 日（土）～ 25 日（水）までカナダのカルガリーで開かれます。地区ナイトでお会いできるのを、楽しみにいたしております。６月 22 日（日）午後６時半から開催する地区ナイトの会場は、「ベストウェスタンプレミアカルガリープラザホテル」のバンケットルームです。下記ＨＰへアクセスし、スクロールダウンして、「View Virtual Tour」から会場を確認できます。クランベリー色の円の白色矢印をクリックすると「FRONT DESK AREA」へ動き、そこから左側に進むと左右にクランベリー色の円の白色矢印が表示されますので、左側の「Garden Court」をご確認ください。

https://www.calgaryplaza.com/meetings-events



3-Year Rolling Goals

国際ロータリーの理事会は、クラブの発展と活性化のため、活動や目標の継続性を重要な課題と位置づけ、今年度をトライアル期間の初年度とし、地区やクラブに対し理解と協力を要請。年度前、2024 年 3 月開催の会長エレクト研修セミナーから取り上げてまいりました。「JAPAN Portal Site」に「クラブサポート」が示されておりますが、目標や進捗状況を確認することの意識を高めていくためのアクションと拝察いたします。クラブサポートミーティングは、稲葉ガバナー年度にスタートしますので、稲葉ガバナーエレクトは、5 月 26 日に Zoom で説明会を開かれました。次年度のＲＩ会長メッセージには“ＵＮＩＴＥ”を唱えておりますので、そういった意味においてもガバナーとクラブ会長が連携できる機会となれば幸いです。

クラブサポートミーティングとは

地区ガバナーがクラブの運営や活動を支援するために開催するもので、ロータリーの会員に地域社会、職場と世界中での奉仕を促すことを目的としています。地区ガバナーがクラブの状況を把握し、必要な支援やアドバイスを提供します。また、クラブの会員同士の情報交換や意見交換の場としても活用されます。

詳しくは
こちらから！

6 月はロータリー親睦活動月間

6 月は「ロータリー親睦活動月間」です。
『ロータリー章典』の 42.010.1. 親睦活動の条件は、下記にお示しの通りです。

ロータリー親睦活動は、共通の関心事、職業、またはレクリエーションの活動を軸に、交流と友情を深め、コミュニティを構築するという主な目的のために世界中から結束した人のグループである。親睦活動は、関心を持つ人であれば誰でも会員になることができる。親睦活動はあらゆる年齢、民族、人種、皮膚の色、障害の有無、宗教、社会的地位、文化、性別、性的指向、ジェンダーアイデンティティーの人びとに対し参加を開放するためインクルーシブなものにすべきである。

なお、ロータリーには、会員のスキル、関心、アイデンティティに基づいて活動している 2 つのグループがあります。ロータリアン、ローターアクターだけでなく、ロータリーファミリーであれば誰でも参加でき、共通の関心をもつ世界中の仲間との輪を広げることができます。一つは、仕事や趣味について同じ関心をもつ仲間と交流できる「ロータリー親睦活動グループ」で、もう一つは特定分野の奉仕に力を注ぐ「ロータリー行動グループ」です。

ロータリーの目的の第 1 項に「奉仕の機会として知り合いを広めること」、四つのテストの 3 番目に「好意と友情を深めるか」とあります。親睦と奉仕は、ロータリーの最大の魅力ではないでしょうか。

第 12 回全国インターアクト研究会長野会議

第 12 回全国インターアクト研究会長野会議が松本市のホテルブエナビスタで開かれ、小泉久司ガバナー、稲葉雅之ガバナーエレクト、伊豆中央ＲＣの水谷隆一会員、伊豆総合高校石川友也教諭と生徒の青木翔哉さん、ロータリープログラム委員会インターアクト小委員会の小柳守弘委員長が出席しました。各地区からの参加者は総勢 215 名でした。「ロータリーの青少年奉仕活動の本質を共に考える」をテーマに初日は音楽家きりん氏の感受性というもの、心の扉を開くということについての講演があり、会場の多くの方が涙しました。また、延原氏による「インターアクトクラブ活動がメンタルヘルスに与える影響」と題した講演のほか、ＲＩ第 2600 地区の生徒、教員による「インターアクトクラブ活動から学ぶ第 2600 地区の取り組み」では、地域の自然を大切にした事例発表を聞きました。2 日目はインターアクトクラブの課題、将来のあり方について分科会毎に活発な意見交換を行いました。分科会テーマは①「インターアクトにおける国際理解と社会奉仕活動の在り方を考える」②「少子化によるインターアクト活動の考察」③「青少年活動における危機管理とＤＥＩの重要性を考える」です。最後に分科会代表者が発表しました。

2 日間を通して今回の開催地、ＲＩ第 2600 地区白鳥ガバナーの全体運営、各地区への気配り、そしてインターアクトクラブをより良いものにしていくという強い意志が伝わってきました。非常に充実した 2 日間を過ごすことができました。今後の当地区インターアクトクラブ活動に活かしていく所存です。





国際ロータリー第２６２０地区　静岡第２グループ
富士山吉原 RC　創立７０周年記念式典

富士山吉原ロータリークラブ創立 70 周年記念式典が、2025 年 5 月 15 日（木）に、富士市のホテルグランド富士において開催されました。

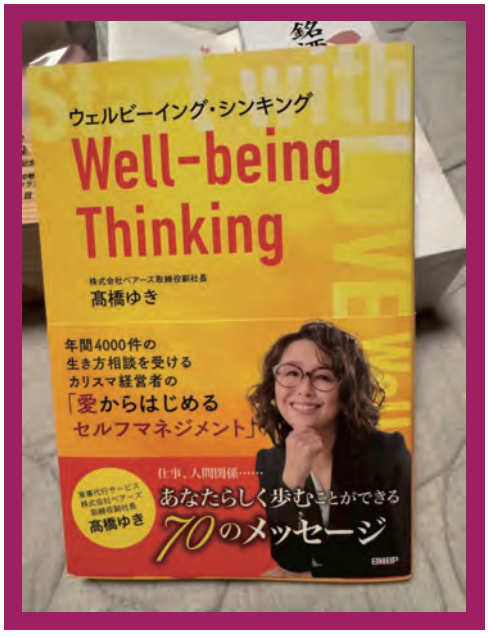
当日は、富士市の小長井市長、衆議院議員の細野豪志氏および深澤陽一氏の両代議士、さらに富士商工会議所の浅見会頭、富士青年会議所の伊藤理事長、富士商工会議所青年部の内田会長、岳南法人会青年部会の竹田会長、富士市社会福祉協議会の渡邉会長など、多くのご来賓をお迎えいたしました。また、姉妹クラブである台湾・台北芙蓉ロータリークラブ（RC）からは、地区ガバナーを含む 20 名の皆様にご参加いただきました。加えて、クラブ OB の皆様にも多数ご臨席いただき、記念すべき 70 周年を、会員数 70 名の達成と共に盛大に迎えることができました。

記念事業としては、富士市新体育館へのデジタルサイネージの寄贈を行い、富士市より感謝状を賜りました。記念講演では、東京紀尾井町ロータリークラブの会員であり、株式会社ベアーズ取締役副社長の髙橋ゆき様による「ウェルビーイング・シンキング」と題したご講演がありました。26 歳で香港・ワンチャイ RC から始まったご自身のロータリー活動を交えたお話に、深い感銘を受けました。

祝賀会では、地元出身の三味線奏者・佐藤さくら子様による演奏に始まり、小泉ガバナーや会長をはじめとする鏡開きの一升枡の演出、そして台湾からのメンバーとの楽しい交流のひとときを過ごしました。来年の世界大会での再会も約束し合うなど、和やかで心温まる時間となりました。

ロータリー恒例の「手に手つないで」では、この日のために車椅子で参加された木村会員がソングリーダーを務め、盛大な締めくくりとなりました。

「70 周年・70 人」の合言葉のもと、目標を達成された荻田会長をはじめ、クラブの皆様のご尽力に心より敬意を表します。富士山吉原ロータリークラブの皆様、創立 70 周年、誠におめでとうございます。





長泉ロータリークラブ創立４０周年記念式典

2025 年 5 月 17 日（土)、長泉ロータリークラブ創立 40 周年を記念する式典が、由緒ある米山梅吉記念館にて盛大に開催されました。

当日は、小泉久司地区ガバナー、長泉町の池田修町長、米山梅吉記念館の多田幸雄副理事長、友好富夫ガバナー補佐をはじめとする多くのご来賓をお迎えし、心温まる祝福の場となりました。

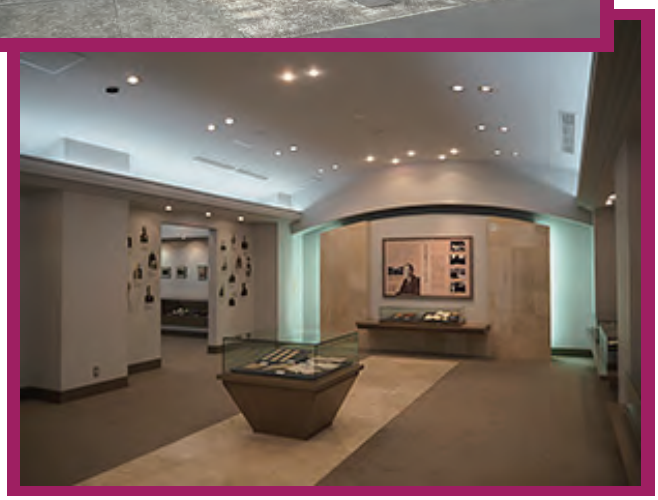
式典は、川瀬一隆会長および実行委員長・鈴木真雄氏のご挨拶を皮切りに、記念事業の発表、米山梅吉記念館へのご寄付、そして記念講演へと進みました。記念講演には、メディア出演も多数、全国で感動を届けている講演家・古市佳央氏をお招きし、「次世代の子どもたちに残せるものは」と題したご講演を賜りました。若者の自殺をゼロにしたい、思いやりと笑顔があふれる社会を創りたいという熱い想いを語られ、その真摯なお話に多くの参加者が胸を打たれ、深い感銘を受けました。

式典終了後には、和やかな雰囲気のもと、親睦懇親会が催されました。乾杯の声とともに始まったひとときには、クラブの発展を支えてこられた歴代の先輩方から温かいご挨拶を頂戴し、クラブの歩みと絆を改めて感じる時間となりました。そして閉会にあたり、ロータリーの象徴ともいえる「手に手つないで」の歌を全員で斉唱し、感動の余韻を胸に式典の幕が静かに下ろされました。

長泉ロータリークラブの皆様、創立 40 周年、心よりお祝い申し上げます。これからの益々のご発展をお祈り申し上げます。









地区奉仕活動セミナー

地区奉仕活動セミナーを 5 月 18 日、Zoom で開催致しました。小泉久司ガバナー、規定審議会・決議審議会代表議員の野口英一パストガバナー、委員会アドバイザーの星野喜忠パストガバナーをはじめガバナー補佐、地区奉仕活動委員会、クラブ会長、幹事、奉仕委員の 330 名ほどの皆様にご登録をいただきました。

野口パストガバナーによる規定審議会 2025 についての講話、地区奉仕活動委員会の理念チームと国際奉仕チームの活動報告、社会奉仕チームの活動報告として、各グループのガバナー補佐が合同奉仕事業の報告を行ったほか、沼津柿田川 RC と山梨 RC に、奉仕活動の事例紹介していただきました。

地区ホームページよりセミナーを視聴できますので、次年度へ向けて会長、幹事、奉仕委員会の方々はぜひご覧ください。









セミナー当日の
動画はこちら

こちらもチェック！

ロータリーの
基本理念と価値声明

小泉久司ガバナー杯親睦ゴルフ大会を開催

2025 年 5 月 21 日（水）、新緑がまぶしい初夏の一日、小泉久司ガバナー杯 親睦ゴルフ大会が、山中湖村にある風光明媚な富士ゴルフコースにて開催されました。

当日は、静岡から 36 名、山梨から 54 名、総勢 90 名ものロータリアンの皆様にご参加いただき、盛大かつ和やかな一日となりました。空は晴れ渡り、気温は 25℃まで上昇する夏日となりましたが、山中湖高原を渡る爽やかな風が心地よく、まさに絶好のゴルフ日和に恵まれました。

スタートホールでは、雄大な富士山が山頂に雪を残したまま、くっきりと姿を見せ、参加者の心を高揚させてくれました。スタート前には、地区ののぼり旗を掲げて各組ごとに記念撮影を行い、笑顔と期待に満ちた表情で順次ティーオフ。OUT・IN それぞれ 23 組に分かれてのプレーは、順調に進行いたしました。

午後 3 時過ぎ、全組のプレーが終了したのち、いよいよ表彰式が行われました。式典では、小泉久司ガバナーより、参加者の皆様への感謝のご挨拶とともに、パストガバナーならびにガバナー補佐のご紹介があり、会場は温かい拍手に包まれました。

表彰式では、ニアピン賞、ドラコン賞、BB 賞、BM 賞、飛び賞、当日賞、特別賞など、多彩な賞品が入賞されたロータリアンの皆様に贈られ、会場は歓声と笑顔に満ちあふれていました。準優勝には、甲斐シティー RC の角田貞三ガバナー補佐が輝き、そして栄えある優勝、「小泉久司ガバナー杯」を手にしたのは、富士吉田 RC の遠山喜一郎会員でした。おめでとうございます！

こうして、親睦と交流を深める素晴らしい一日となった小泉久司ガバナー杯 親睦ゴルフコンペは、無事に幕を下ろしました。

ご参加いただきましたすべてのロータリアンの皆様に心より感謝申し上げます。また、本コンペに景品をご提供いただきましたパストガバナー・ガバナー補佐各位にも、改めて御礼申し上げます。

そして、開催にあたりご尽力いただきました河野富重実行委員長、遠藤実副実行委員長、そしてガバナー事務所スタッフの皆様、本当にありがとうございました。



小泉久司ガバナー杯親睦ゴルフコンペ

2025.5.21











準優勝
山梨第 3Gr ガバナー補佐甲斐シティー RC 角田貞三様



優勝
富士吉田 RC　遠山喜一郎様

国際ロータリー第 2620 地区
山梨第 3 グループインターシティーミーティング

2025 年 5 月 24 日（土)、アピオ甲府にて山梨第 3 グループのインターシティーミーティング（IM）が盛大に開催されました。

当日は、甲斐市長・保坂武様代理、市長公室長・丸山英資様をはじめ、山梨県内各グループのガバナー補佐の皆様、そして山梨第 3 グループに所属される多くの会員の方々が一堂に会し、親睦と交流を深める有意義なひとときを共にいたしました。

今回の IM のテーマは、「古代地域開発から探る『甲斐』という名の由来」。このテーマは、私たちが暮らす山梨の歴史を改めて見つめ直し、深く理解しようという想いのもと、IM 実行委員長・保坂裕幸様のご発案によって定められました。

講師としてお迎えしたのは、甲斐市教育部長であり、日本考古学協会にも所属し多くの著書をお持ちの大嶌正之様。講演では『古事記』や『日本書紀』などの神話世界をふまえつつ、「甲斐」という地名の由来について、歴史的背景や考古学的視点から興味深い考察をうかがうことができました。郷土の名の奥深さに触れるとともに、改めて地域の誇りを実感する貴重な機会となりました。

講演後は懇親会へと移り、アトラクションでは、甲斐和太鼓衆信玄太鼓保存会の豪快な太鼓が鳴り響く中、山梨の魅力やロータリー活動について語り合いながら、さらに親睦を深める和やかな時間が流れました。

保坂裕幸実行委員長、吉川直樹会長、角田貞三ガバナー補佐をはじめ、ホストクラブである甲斐シティーロータリークラブの皆様のあたたかなおもてなしに、心より感謝申し上げます。実行委員並びにクラブの皆様、誠にお疲れ様でした。









熱海南ＲＣのＲＩ脱会

静岡第１グループの熱海南ＲＣは、６月末をもってＲＩ脱会となります。

ミャンマー大地震支援金ご協力の御礼

ミャンマー支援金にご協力をいただき、誠にありがとうございました。地区内 58ＲＣから 228 万 273 円の支援金をお預かりいたしました。また、当地区の米山学友会は、3 月 16 日に開かれた米山奨学生期間終了式からミャンマー大地震支援のための募金活動を開始し 179,818 円が寄せられました。支援金の合計は 246 万 91 円となりました。ガバナー会議長へ被災地区のＲＩ第 3350 地区の Patsri Suwimol ガバナーより支援要請書が送られており、ガバナー会が一括して「D3350 Stream of Compassion 災害救援基金」へ海外送金を手配してくださいます。なお、ＲＩ第 3350 地区は当地区と 2022-23 年度に友好協定を結んでおります。

RI 第 2520 地区より大船渡大規模山林火災被害支援金の御礼

33 地区の皆様から、大船渡山林火災被害に対するご支援を頂戴しまして心より感謝申し上げます。5 月 26 日現在、第 2520 地区を含めた 34 地区の支援金は総額 75,981,200 円にのぼりました。大船渡市、大船渡 RC・大船渡西 RC の協力もと、被災地、被災者のため大切に活用させていただきます。詳細につきましては、改めてご報告させていただきます。

国際ロータリー第 2520 地区
ガバナー　佐藤　剛
大船渡 RC 会長　伊藤　博
大船渡西 RC 会長　山口　徹

先輩方を偲ぶ

今年度は 3 月に積惟貞パストガバナー、4 月に牧田静二パストガバナー、5 月に井上雅雄パストガバナーがご逝去されました。私のロータリーライフにおきましても、大きな影響を受けてきた方々でございました。これまでのお導きに深く感謝を申し上げ、謹んで哀悼の意を表します。

訃報



国際ロータリー第 2620 地区パストガバナー（2006-07 年度ガバナー）井上雅雄様（甲府南ＲＣ）は 2025 年 5 月 18 日、ご逝去されました。91 歳でした。

謹んでお悔やみ申し上げますとともに、心からご冥福をお祈りいたします。